	令和4	年度(令和	3年度実施事	業分)主導	医事業 評	価シ-	- ト			No.	20-	-03
PDCA	主要事業名	子ど	もの貧困対策	事業	事業 部課名			子ども未来部 子ども育成課			榊	原 06
	総合計画:	1 - 1 - 1 単位施策:子どもと子育て家庭							<u> </u>	40	1	
┣ 総合計画との関係性と予算根拠	全体事業期間: 令和 3 年度 ~ 5 年度 全体事業費等: 26,362 千円 会計 一般会計 歳出科目: 03.02.01.06.50 3 か年実施計画(当該年度事業費等): 8,300 千円											
	0.001	事業概要: 子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく子どもの貧困対策 として貧困の連鎖を防止するための学習・生活支援を実施する。								予		
	事業概要等	事業目的: 子どもの将来がその生まれた環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る。 ①子どもの学習・生活支援事業の実施 事業内容: ②子ども食堂の活動促進のための食材等の寄付に関する情報提										
		 問題点・	供、意見交換 学習・生活支 実施形態、場	会等の実 援事業に	施。 :ついて、	より	良い事業	運営の	ため	に対象、	算見積書	(予算計
	予算額主要事業とする理由										ー で 活	上
	8,204 千円 財源内訳 市費	訳 は、学習・生活支援を始めとした各種事業が必須であるため。								くために	用	時に作
	2,402 千円 国費	得られる成果										成
	698 千円	子どもが社会で自立して生きていくための力を身に着けることにより、貧困の連鎖の防止につながる。										
	県費 5,104 千円		∃指すべき状態 ・生活支援事	態 実績 (元年度 61.3	令和2年度 71.9		年度	単位 %		
	5,104	常の出席		目標		80. 0	80.0	_	0	%		
				実績(
	その他 0 千円			実績(直							
D 値 得 られ	決算額	得られた成果										
	5,886 千円	常設学習・生活支援事業では、学習に対してだけでなく、学校生活や私生活に関する相談に乗ったり、社会で自立して生活していくための習慣を身に着けるための支援を行うことにより、3年生の多くが自ら志望する進路										
		へ進むことができた。										
た 成			・生活支援事業	業の出席2	———— 率		実績値	70.	. 3	%		
果と実				10 TO 11111			目標値	80.	0	%	÷	評
実											主要施	佃
績											施策	項目
С		С						_			の	
		常設学習・生活支援事業では、支援の必要性の高い生徒については、感染予防を徹底した上で対面授業を継続して支援に努めた。また、欠席者に対してはさらなるアプローチを行い、出席率を上げる必要がある。 また、長期休暇中の学習支援については、利用ニーズの増加に対応し、令和3年度から1会場博設し、会計3会場で実施した。										決
課題の整理	事業の評価・課題	底した上で プローチを また、長期	対面授業を継続 行い、出席率を 休暇中の学習す	売して支援 上げる必 え援につい	に努めた 要がある ては、利	。また	:、欠席者	に対して	はさ	らなるア	成果報告書で	時に作
題の整理		底した上で プローチを また、長期	対面授業を継続行い、出席率を 付い、出席率を 休暇中の学習す 増設し、合計3	売して支援 上げる必 え援につい	に努めた 要がある ては、利	。また	:、欠席者	に対して	はさ	らなるア	果報告書で活	時に作
題の整理 A 課題		底した上チ長会 でを期場 常続きる。	対面授業を継続を持ている。 対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、	たして支援必 を を を 接に は で は で は が し が し げ つ で ま と げ っ で る も い て る い て は い て る り た り た り た り る と り る と り る と り る と り る と り る を も を り る を も る を も る を も を も を も を も を も を も を	に努めたる形がある。 おいない おいない おいない おいない おいない おいない おいない おいな	。。 第 二 か に が に が に が に が に あ な な な な な な な な な な な な な	、 欠 増加 庭びがが 産びがが ない 産びがが ない 実際の 実際 にない また の 実際 にない また の また また かい また かい また かい こう いい こう かい こう いい こう にん こう いい	に対してに対応しに対応した対応は、 は対してに対応します。	は 、 し 訪を た 問促	らなるア 和3年度 ため、引きに も電してい	果報告書	時に作
題の整理 A 課題解決	評価・課題	底した一大・ 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 2 を 2 を 3 を 3 を 4 を 3 を 4 を 4 を 4 を 5 を 5 を 5 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6	対面授業を継続を考えている。 対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、	たして支援必 を を を 接に は で は で は が し が し げ つ で ま と げ っ で る も い て る い て は い て る り た り た り た り る と り る と り る と り る と り る と り る を も を り る を も る を も る を も を も を も を も を も を も を	に要めたる 要がはしした。 和TTS 和TTS を を を を を を を を を を を を を	。。用 か児携 ら か り り り り り り り り り り り り り り り り り り	、 欠 増加 庭びがが 産びがが ない 産びがが ない 実際の 実際 にない また の 実際 にない また の また また かい また かい また かい こう いい こう かい こう いい こう にん こう いい	に対して に対応し に対応し に対し、 養務も追加 と と 登章の参加	は 、 し訪を 5	らなる 和3年度 ため、引きに たや進し 場)	果報告書で活	時に作
題の整理 A 課題解決に	評価・課題 今後の事業 の方向性	底した一大・ 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	対面授業を継続を考えています。 対のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	たして支援必い を を を を を を を を を は の で し が の で は の で は の で し が の で は の が の で は の が の が の が の は の が の も る の も る の も の も の も の も る も る も る も る も る も る る も る る も る る も る る も る も る も る る る る る る る る る る る る る	に要で施 の の の の の の の の の の の の の	。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	欠 庭びが 度びが 設 大きし	に対して に対応し に対応し 終 も追加 の (3 → 4 ~	は 、 し訪を 5 効ト	らなる 和 3 年度 ため、 引きに が進 場) 本性 ある	果報告書で活	決算時に作成)
題の整理 🗚 課題解決	評価・課題	底した、1 たいでを期場でを期場でを期場でも、1 なりをはない。 はいます でも	対のでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	たして支援必い を を を を を を を を を は な は な は な は な は な は な は な は な は な は な は な は な は な は な は な は は な は は な は は は な は は は は は は は は は は は は は	に要て施 おあ、た 和てな の会 を を を を を を を を を を を を を	。 の の の の の の の の の の の の の	欠 庭びが 度びが 設 大きし	に対して に対応し に対応し 終 も追加 の (3 → 4 ~	は、し訪を多効ト地である。	ある 和3年度 たや進 め電し が電し がままい も を も は は は は は は は は は は は は は	果報告書で活	時に作